

Oncology News

ホルモン補充療法の乳がんリスク、治療法と期間で異なる／BMJ

英国・ノッティンガム大学の Yana Vinogradova 氏らの同国コホート内症例対照研究で、ホルモン補充療法（HRT）の乳がんリスクのレベルは、HRT の種類により異なり、併用療法および長期投与で高いことが示された。ただし、メタ解析と比較し、長期の HRT に関連した乳がんのリスク増加は小さく、治療の中止でリスクは顕著に低下することも示されている。先行研究では、長期的な HRT は乳がんのリスク増加と関連しており、治療中止後はリスク増加が減るものの数年間はリスクが高いままであることが、また最近の大規模メタ解析では HRT に関連した乳がんリスクが予想よりも高いことが示されていた。BMJ 誌 2020 年 10 月 28 日号掲載の報告。

治療法と期間別に乳がんリスクをコホート内症例対照研究で評価

研究グループは、異なる HRT の種類および投与期間と乳がんリスク増大との関連を評価するため、英国のプライマリケア研究データベース、QResearch および Clinical Practice Research Datalink (CPRD) のデータを用いたコホート内症例対照研究を行った。これらのデータベースは、入院、死亡、社会的剥奪およびがん登録（QResearch のみ）と連携している。

解析対象は、1998～2018 年の期間に乳がんの初回診断を受けた 50～79 歳の女性 9 万 8,611 例（症例群）、およびこの集団と年齢、一般診療、index date を一致させた女性 45 万 7,498 例（対照群）であった。

主要評価項目は、一般診療記録、死亡記録、入院記録、がん登録に基づく乳がんの診断とし、HRT の種類ごとに患者背景、喫煙状況、アルコール摂取、併存疾患、家族歴、他の処方薬で補正したオッズ比（OR）を算出し評価した。

長期のエストロゲン単独療法とエストロゲン+プロゲステロン併用療法で増加

症例群 3 万 3,703 例（34%）および対照群 13 万 4,391 例（31%）が、index date の 1 年前に HRT を受けていた。

HRT 使用歴なしと比較し、最近（過去 5 年未満）の長期（5 年以上）使用者では、エストロゲン単独療法（補正後 OR : 1.15、95%信頼区間[CI] : 1.09～1.21）およびエストロゲン+プロゲステロン併用療法（1.79、1.73～1.85）のいずれも乳がんのリスク増加と関連していた。併用するプロゲステロンについては、乳がんのリスク増加はノルエチステロンが最も高く（1.88、1.79～1.99）、ジドロゲステロンが最も低かった（1.24、1.03～1.48）。

当コンテンツは、株式会社ケアネットの監修により、がんに関連する重要論文を選別し、それらを簡潔に要約したニュースレターです。当社の見解を述べるものではなく、承認外使用を推奨するものではありません。内容の詳細については元文献・元ニュースを、製品に関する情報は各製品の最新の添付文書をご確認いただきますようお願いいたします。

尚、当コンテンツに掲載されている記事等に係る所有権、著作権その他一切の権利は、ニプロ株式会社、株式会社ケアネット、コンテンツ制作者等の著作権者が保有しています。

Oncology News



過去（5年以上前）のエストロゲン単独療法の長期使用、および過去の短期（5年未満）エストロゲン＋プロゲステロン併用療法は、乳がんのリスク増加との関連は認められなかった。しかし、過去の長期エストロゲン＋プロゲステロン併用療法では乳がんのリスクは高いままであった（補正後 OR：1.16、95%CI：1.11～1.21）。

HRT 使用歴なしと比較した乳がん発症例の増加（1万人年当たり）は、最近のエストロゲン単独療法使用者では3例（若年女性）～8例（高齢女性）、最近のエストロゲン＋プロゲステロン併用療法使用者では9例～36例、過去のエストロゲン＋プロゲステロン併用療法使用者では2例～8例と予測された。

結果を踏まえて著者は、「われわれの研究は、英国におけるさまざまな HRT の使用と乳がんリスク増大に関する一般化可能な新たな推定値を提供するものである」と述べている。

< 関連文献 >

Vinogradova Y, et al. BMJ. 2020;371:m3873.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33115755/>

当コンテンツは、株式会社ケアネットの監修により、がんに関連する重要論文を選別し、それらを簡潔に要約したニュースレターです。当社の見解を述べるものではなく、承認外使用を推奨するものではありません。内容の詳細については元文献・元ニュースを、製品に関する情報は各製品の最新の添付文書をご確認いただきますようお願いいたします。

尚、当コンテンツに掲載されている記事等に係る所有権、著作権その他一切の権利は、ニプロ株式会社、株式会社ケアネット、コンテンツ制作者等の著作権者が保有しています。